

部落解放研究第42回全国集会 開催要綱

【集会テーマ】 世界人権宣言60周年を機に、
平和・反差別・人権を確立する実践をさらにおしすすめよう！

【主催】 部落解放研究第42回全国集会中央実行委員会

〈構成団体〉 全国同和教育研究協議会 部落解放中央共闘会議

全国大学同和教育研究協議会 社団法人部落解放・人権研究所

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議

同和問題に取り組む全国企業連絡会

部落解放同盟中央本部 地元(宮崎県)実行委員会 (順不同)

【日時】 2008年10月3日(金)～5日(日)

【場所】 宮崎県宮崎市 総合体育館 他

【規模】 7,000人

【日程】

期日	時刻	9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
10/3				受付	全体集会	
10/4	受付	分科会	昼食	分科会		
10/5	受付	全体集会				

【参加対象】

- ①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など
- ②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員
- ③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

【集会内容と会場】

10／3(金)		全 体 集 会 (第1日目)
12:00	受 付	宮崎市総合体育館 住所 〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1-2-7 TEL 0985-29-5603
13:00	開 会	
13:05	主催者代表挨拶	
13:15	現地実行委員長挨拶	
13:20	来賓挨拶・紹介	
13:40	記念講演 『21世紀初頭の地方財政の危機、その原因と政策課題 ——分権と自治の時代を開く ——自治体、市民、各級議員がなにをすべきか』 澤井 勝 (奈良女子大学名誉教授)	
15:10	地元報告『共に差別をなくす取組みを』 仮谷 龍一 (部落解放同盟宮崎県連合会)	
16:00	事務連絡／閉 会	

10／4(土)		分 科 会 (第2日目)
9:00	受 付	
9:30	分科会開会	
12:00	昼 食	
13:00	分科会再会	
16:00	分科会閉会	

10／5(日)		全 体 集 会 (第3日目)
9:00	受 付	宮崎市総合体育館 住所 〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1-2-7 TEL 0985-29-5603
9:30	開 会	
9:35	特別報告① 『学力形成の社会的メカニズムを考える』 耳塚 寛明 (お茶の水女子大学)	
10:35	特別報告② 『宮崎同宗連のとりくみ』 登尾 唯信 (浄土真宗本願寺派松尾寺)	
11:00	特別報告③ 『「人権教育の世界プログラム」と 「人権教育・啓発推進法」を活用した取組の現状と課題 ——自治体の取組アンケート調査を踏まえて』 友永 健三 (部落解放・人権研究所)	
11:40	閉 会	

【参加申し込みについて】

- ①参加・資料費は4,000円です。部落解放同盟の各都府県連で一括集約をお願いいたします。
- ②一般参加の方も、それぞれの部落解放同盟各都府県連にお申し込み下さい。
- ③参加・資料費の振り込み先は、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へ、お振り込みをお願いいたします。

※なお、宮崎県は地元実行委の案内に従って申し込みをお願いします。

《振り込み先》

銀行名：りそな銀行 桜川支店
普通預金 口座番号 4 2 6 3 0 4
名義人：部落解放同盟中央本部（全研）組坂繁之

【宿泊・弁当の申し込みについて】

- ①宿泊ホテルが多岐にわたるため一律の料金が設定できませんので、ランク別の料金設定になります。申込順の受付となります。（部屋数に限りがあり、希望に添えない場合がありますが予めご了承下さい。）宿泊ホテル・料金については、下記の旅行社より『宿泊＆弁当のご案内』が各都道府県に送付されますのでご参照下さい。
- ②お弁当（お茶付）800円（税込み）
- ③お申込みの取消しについては取消料金を申し受けます。詳細は別冊のご案内を参照下さい。
- ④申し込み締め切り日 **2008年9月5日（金）**
※期日厳守をお願いします。期日を過ぎた申し込みをお断りする場合があります。
- ⑤予約の確認証・請求書は9月20日（土）頃の発送となります。すべての旅行代金は9月30日（火）までに下記口座へお振込下さい。なお、振込手数料は各自負担いただきますようお願いいたします。

【宿泊・弁当申し込み先】

（株）JTB九州宮崎支店 「部落解放研究第42回全国集会」係
〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東4-7-28
TEL 0985-21-1996 / FAX 0985-21-1998

【参加割当】

都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当
東京	200	静岡	10	和歌山	230	高知	100
埼玉	80	愛知	60	大阪	450	愛媛	10
群馬	80	岐阜	60	兵庫	400	福岡	800
栃木	50	三重	80	岡山	100	大分	300
千葉	30	富山	10	広島	150	長崎	100
神奈川	50	石川	10	山口	50	佐賀	300
山梨	5	福井	10	鳥取	250	熊本	400
長野	60	滋賀	230	島根	20	宮崎	1,500
新潟	10	京都	250	徳島	100	鹿児島	100
福島	5	奈良	250	香川	100	合計	7,000

【分科会の内容について】

分科会テーマ	討 議 の 柱
1 入門・時事	①近年、部落解放運動関係者の不祥事をめぐる多数の報道が行われましたが、他方で、部落問題と真摯に向き合う報道も散見されます。午前の部では、部落問題報道番組（NHK『岐路に立つ同和行政』2007年5月）を実際に観賞し、製作者の立場から、番組制作の背景、製作時のようす、放送後の反応とその後の展開について報告いただき、部落問題を表現することの意義について議論します。 ②偏見を持つことは悪いことだという認識は共有されていますが、偏見・ステレオタイプ（固定観念）を解消するにはどうしたらよいか、その対象となる人々にそれがどのような影響を与えるのかについては、日本ではあまり検討されていません。あらためてステレオタイプについて考えます。 ③1990年代後半以降、さまざまなデータによって格差が拡大していることが明らかになっています。なかでも貧困状況に置かれている子どもたちは、もっとも不平等な状況のひとつと言ってよいでしょう。近年注目されている「子どもと貧困」という視点から、現代日本のあり方を問いなおします。 〈司 会〉西島 藤彦（部落解放同盟） 一午前の部ー 『部落問題報道の現場から』 齋藤 賢治（日本放送協会大阪放送局） 一午前の部ー 『ステレオタイプの社会心理学』 上瀬由美子（江戸川大学） 『子どもと貧困』 小西 祐馬（長崎大学）
会 場	宮崎市総合体育館・体育室 宮崎市宮崎駅東1-2-7 ☎0985-29-5603
2 入門 部落の歴史	①宮崎における部落史研究(前近代)の成果を学び、被差別部落の歴史を解明します。 ②被差別民（衆）が日本の歴史・文化面で果たしてきた歴史的役割を学び、歴史認識を高めます。 一午前の部ー 〈司 会〉中村 久子（佐賀部落解放研究所） 〈報 告〉『日向国の被差別部落史』 松下 志朗（元九州大学） 一午前の部ー 〈講演・対談〉『被差別民（衆）が果たした社会的役割ー文化・芸能・産業技術など』 沖浦 和光（桃山学院大学） 中尾 健次（大阪教育大学）
会 場	宮崎市民プラザ 宮崎市橘通西1-1-2 ☎0985-24-1008

	分科会テーマ	討 議 の 柱
3	狭山再審闘争 と司法民主化 の課題	①狭山事件の第3次再審請求で弁護団が訴えている内容を学習しながら、冤罪と司法民主化の原因と誤判救済への道を考えます。 ②狭山事件の真相、石川一雄さんの無実を原点にかえて考えます。 ③狭山事件や他の冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法、メディア等の問題点を明らかにし、冤罪・誤判をなくすための課題を考えます。 ④代用監獄や人質司法などの問題点を考え、取調べの可視化、証拠開示の公正なルールの確立など、誤判・冤罪をなくすための司法制度改革のありかた、今後の課題について考えます。 ⑤国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の司法制度に学び、日本における司法改革の課題を考えます。 ⑥自由権規約にもとづく日本政府報告と委員会の審査で問われていることを考えます。 ⑦裁判員制度について考えます。裁判員制度とは何か、制度の導入にともなってどのような課題があるかを市民の立場から考えます。 〈司 会〉小野寺一規（部落解放同盟） 〈助 言〉大野 昭則（部落解放同盟） 片岡 明幸（部落解放同盟） 〈報 告〉『狭山第3次再審はいま』 中山 武敏（狭山事件再審弁護団） 石川 一雄（狭山事件再審請求人） 串間 弘康（狭山事件を考える宮崎住民の会） 〈パネルディスカッション『えん罪を生まない裁判員制度のために』〉 庭山 英雄（弁護士） 鹿児島選挙違反えん罪事件国家賠償請求訴訟原告団 その他冤罪事件関係者
	会 場	宮日会館 宮崎市高千穂通1-1-33 ☎0985-26-5558

	分科会テーマ	討 議 の 柱
4	部落差別の実態と糾弾闘争の課題	①差別事件の取り組みを通して、部落差別の実態と差別事件の今日の特徴を明らかにします。 ②ネット上の差別事件の実態と今後の対応について考えます。 ③差別意識のありようや捉え方についての論議を通して、今後の差別糾弾闘争の実践的課題を明らかにします。 ④「人権侵害救済法」制定の取り組みと合わせて、差別糾弾闘争のあり方と人権政策確立にむけた法制度・施策を検討します。 〈司 会〉中田理恵子（部落解放同盟） 〈助 言〉吉田 勝夫（部落解放同盟） 村井 信夫（部落解放同盟） 北口 末広（部落解放同盟） 〈報 告〉『連続・大量差別投書事件の取り組み』藤本 忠義（部落解放同盟） 『福井・富山における公正採用にむけた取り組み』 吉田 樹（部落解放同盟） 『土地問い合わせ差別事件の取り組み』（部落解放同盟） 『インターネット上の差別事件について』 成田 進（奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会） 『三田市における差別事件の取り組み』坂本 三郎（部落解放同盟） 『大阪における差別事件の取り組み』（部落解放同盟） 『九州における差別事件の取り組み』（部落解放同盟）
	会 場	宮崎市立宮崎小学校・体育館 宮崎市旭1-4-1 ☎0895-24-4360
5	人権侵害被害は救済されているかー人権侵害救済の法制度早期確立へー	①具体的な事例から、人権侵害被害の現実とその救済の現状を検証します。 ②具体的な事例から、人権侵害被害を救済する法制度をめぐる論点を討議します。 ③上記を通じ、人権侵害被害救済に関する法制度の早期確立へむけた課題を協議します。 ーパネルディスカッションー 〈コーディネーター〉谷元 昭信（部落解放同盟） 〈パネラー〉『「人権擁護法案（政府案）」をめぐる論点整理』 山崎 公士（新潟大学教授） 『部落差別事件と被害救済』浦本誉至史（部落解放同盟） 『ハンセン病回復者への差別と被害救済』志村 康（菊池恵楓園） 『「人権侵害救済法」を巡る情勢と課題』組坂 繁之（部落解放同盟）
	会 場	宮崎市中央公民館 宮崎市宮崎駅東1-2-7 ☎0985-29-8455

	分科会テーマ	討 議 の 柱
6	『市民と行政の協働』の視点から同和行政を考える	①「市民と行政の協働」という視点から今後の同和行政を考えます。行政依存脱却と公的責任のバランスをどう取るかを考えます。 ②部落の就労問題克服のための様々な取り組みに学びます。 ーパネルディスカッションー 『今後の同和行政のあり方：市民活動から公益サービスを作りだし、行政と市民を繋ぐ』 〈コーディネータ〉中川 幾郎（帝塚山大学） 〈パネラー〉炭谷 茂（元環境省事務次官） 奥田 均（近畿大学） 中村 久子（ワークーズ・コレクティブたすけあいぐっぴい） 松岡 徹（部落解放同盟） 〈報 告〉 『各自治体における地域就労支援の取り組み』福原 宏幸（大阪市立大学） 『兵庫県連就労実態調査からみる兵庫の部落の就労実態』 竹本 貞雄（ひょうご部落解放・人権研究所）
	会 場	宮崎市総合体育館・剣道場 宮崎市宮崎駅東1-2-7 ☎0985-29-5603
7	拡がる学力格差を克服し、豊かな学力を育てる学校づくり ー「力のある学校」づくりをー	①40年数ぶりに実施された全国学力・学習状況調査ですが、悪質な競争激化に反対すると共に、部落をはじめとした教育的に不利な立場に置かれている子ども達の学力実態の把握、豊かな学力内容の追及、そのための基本方向について意見交換します。 ②特に教育的に不利な立場に置かれている子どもをはじめ全ての子どもの学力保障を実現している「力のある学校」づくりについて意見交換します。 ③「開かれた学校づくり」を通じた人権のまちづくりが重要となっていますが、2008年度より実施の文科省「学校支援地域本部事業」等の活用について意見交換します。 ー午前の部ー 〈司 会〉吉岡 正博（部落解放同盟） 〈問題提起〉岡田 健悟（部落解放同盟） 〈報 告〉『「力のある学校」づくりとその課題』高田 一宏（兵庫県立大学） ー午後の部ー 〈司 会〉中村 清二（部落解放・人権研究所） 〈行政説明〉佐藤 弘毅（文部科学省） 〈報 告〉『人権の視点をふまえた学校支援地域本部事業等の活用を』 ①前田 正人（大阪府松原市七中校区地域教育協議会） ②山方 隆（部落解放同盟） 松本 昇（筑前町地域活動相談員） 江藤紀久子（三輪小学校） 〈助 言〉高松 秀憲（全国同和教育研究協議会） 桂 正孝（宝塚造形芸術大学） 高橋 睦子（日本教職員組合）
	会 場	宮崎市民プラザ 宮崎市橘通西1-1-2 ☎0985-24-1008

	分科会テーマ	討 議 の 柱
8	日本の社会保障と福祉のあり方	①日本型社会保障についての学習とすすむべき方向を考えます。 ②社会的弱者の就労やその課題について、調査や現場から今後のあり方を考えます。 一午前の部ー 〈司 会〉伊藤 勝彦（全国隣保館連絡協議会） 〈問題提起〉『日本の社会保障を考える』 大北規句雄（部落解放同盟） 〈報 告〉『これからの社会福祉』 松端 克文（桃山学院大学） 一午後の部ー『生活保護制度とその周辺から考える 自立支援、就労の課題』 〈報 告〉『滋賀県湖南市・甲賀市の総合実態調査から考える 自立支援、就労の課題』西田 芳正（大阪府立大学） 『和泉市の地域就労支援事業から考える 自立支援、就労の課題』山野 正広（大阪府和泉市） 〈コメンテーター〉大北規句雄（部落解放同盟）
	会 場	ホテルプラザ宮崎 宮崎市川原町1-1 ☎0985-27-1111
9	意識調査結果から見る啓発の課題と参加型人権研修	①1970年代以降の全国の意識調査結果の比較分析から、啓発の課題を考えます。 ②人権啓発の歴史を振り返り、意識調査結果の変化と照らし合わせるにより、今後の啓発課題を考えます。 ③特に成人を対象とした人権啓発において、学習者の主体性を尊重する学び方としての参加型学習の可能性を探ります。 〈司 会〉川口 泰司（山口県人権啓発センター） 〈報 告〉『部落問題に関する意識調査の変遷と啓発の課題 ～1970年代以降の意識調査の比較分析から』 竹村一 夫（大阪樟蔭女子大学） 時岡 新（金城学院大学） 『人権啓発の歴史を振り返る ～部落問題を中心に～』 上杉 孝實（畿央大学） 『企業における参加型人権研修の試み』 安藤 正彦（㈱ダイエー、大阪市企業人権推進協議会） 『「人権について学ぶ体験的参加型学習の試み ～教材『私たちの生活と人権』を使って』 尾崎真理子（鳥取県人権文化センター） 〈助言者〉原 伸一（部落解放同盟） 和田 献一（部落解放同盟）
	会 場	第1宮銀ビル 宮崎市橘通東1-7-4 ☎0985-29-4563（管理人室）

【会場案内図】

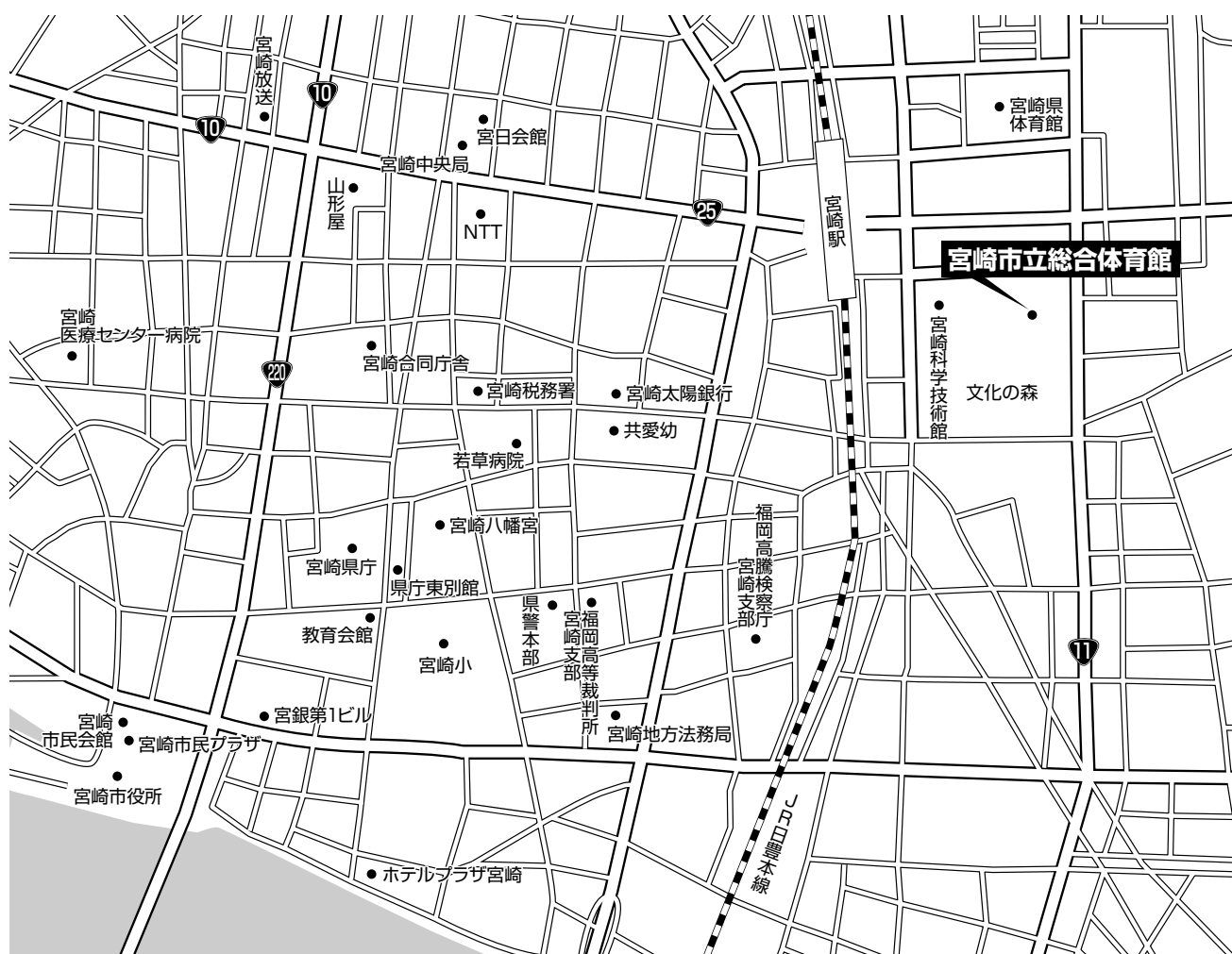
宮崎市総合体育館

1階体育室、2階ギャラリー、剣道場、柔道場等

全体集会

体育室 **第1分科会** 入門・時事

剣道場 **第6分科会** 『市民と行政の協働』の視点から同和行政を考える



〈交通機関〉

・JR「宮崎」駅から徒歩3分

（住 所） 宮崎市宮崎駅東1-2-7

（T E L） 0985-29-5603

宮崎市民プラザ ギャラリー

第2分科会 入門 部落の歴史

第7分科会 拡がる学力格差を克服し、豊かな学力を育てる学校づくり
ー「力のある学校」づくりをー



〈交通機関〉

- ・宮崎空港からタクシーで約20分、バスで約25分
- ・JR「宮崎」駅から徒歩で約25分、バスで10分、タクシーで約6分

(住 所) 宮崎市橘通西1-1-2

(T E L) 0985-24-1008

宮日会館 ホール

第3分科会 狭山再審闘争と司法民主化の課題



〈交通機関〉

- ・JR「宮崎」駅から徒歩8分

(住 所) 宮崎市高千穂通1-1-33

(T E L) 0985-26-5558

宮崎市立宮崎小学校 体育館

第4分科会 部落差別の実態と糾弾闘争の課題



〈交通機関〉

・JR「宮崎」駅から徒歩15分

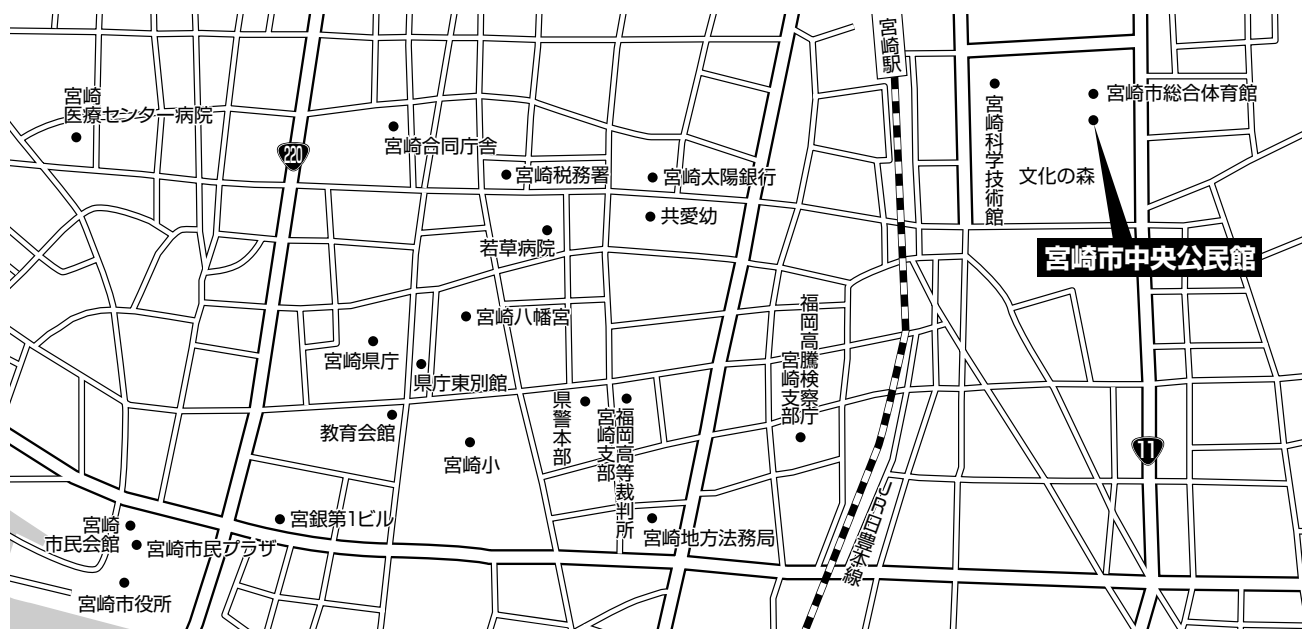
(住 所) 宮崎市旭1-4-1

(T E L) 0985-24-4360

宮崎市中央公民館

第5分科会 人権侵害被害は救済されているか

—人権侵害救済の法制度早期確立へ—



〈交通機関〉

・JR「宮崎」駅から徒歩5分

(住 所) 宮崎市宮崎駅東1-2-7

(T E L) 0985-29-8455

ホテルプラザ宮崎 ホール

第8分科会 日本の社会保障と福祉のあり方



〈交通機関〉

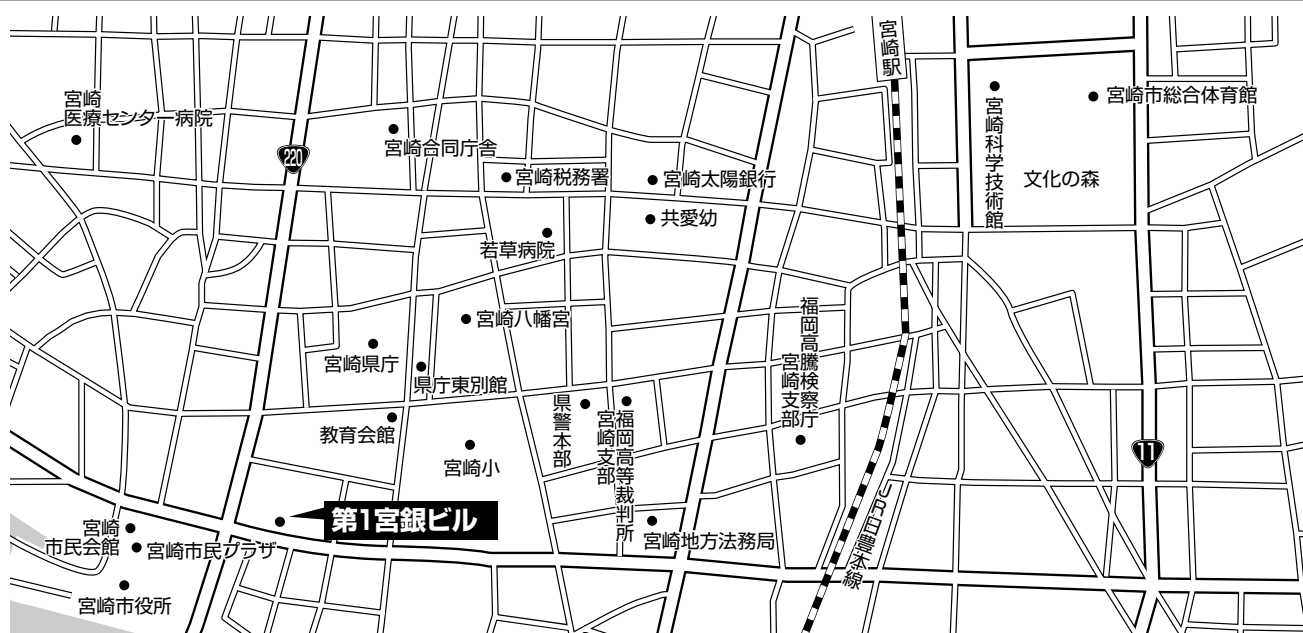
・JR「宮崎」駅から車で約5分、徒歩25分

(住 所) 宮崎市川原町1-1

(TEL) 0985-27-1111

第1宮銀ビル 会議室

第9分科会 意識調査結果から見る啓発の課題と参加型人権研修



〈交通機関〉

・JR「宮崎」駅から徒歩20分

(住 所) 宮崎市橘通東1-7-4

(TEL) 0985-29-4563(管理人室)